

事務事業名	介護二次予防事業				担当	健康福祉部 いきいき高齢課 地域支援係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				電話番号	0285-83-8132		
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援				☐ 実施計画上の主要事業			
基本事業名						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 H18 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	介護保険法 1 1 5 条の 4 5 第 1 項第 2 号								
予算科目	5.介護保険特別会計（保険事業助定）	3.地域支援事業費	1介護予防	1介護予防					
事業概要	介護認定を受ける前の二次予防事業対象者（虚弱な状態にある高齢者等）に対して、要支援・要介護状態になることの予防を目的として、運動器機能向上事業、栄養改善事業、口腔機能向上事業等を実施する。また、うつ、認知症、閉じこもり等の二次予防事業対象者に対しては、訪問による介護予防支援を行っていく。二次予防事業対象者を把握することや、この施策事業の評価についても実施する。								

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移					
27年度実績 要介護・支援者を除く第1号被保険者に対し、基本チェックリストを利用した機能評価を行い、介護予防事業の利用が望ましい判断した者を対象者にして、運動器機能向上、口腔機能向上、認知症予防事業への参加を呼びかけ、井頭温泉や通所介護事業所に委託して事業を展開した。							
対象者の把握について 22年度までは、生活機能評価受診として集団検診や医療機関での健診と併せて実施していたが、23年度からは基本チェックリストをアンケート方式で対象把握となる。H27年度も同様の方法で把握した。							
28年度計画 前年度と同様 対象者の把握については、基本チェックリストによる全ての65歳以上の高齢者を把握する必要性がないことから、モデル地区を指定して実施。また、前年度のアンケートによる把握した対象者等を活用し把握する							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 要介護・支援者を除く第1号被保険者		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移					

(2) 総事業費の推移				単位	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	3,791	4,112	3,949	3,593	5,105
			県支出金	千円	1,895	2,056	1,974	1,797	2,552
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	4,398	4,770	4,581	4,024	5,717
			一般財源	千円	5,083	5,509	5,291	4,959	7,044
			事業費計 (A)	千円	15,167	16,447	15,795	14,373	20,418
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間	880	880	880	880	880
			人件費計 (B)	千円	3,698	3,576	3,714	3,687	3,687
			トータルコスト(A)+(B)	千円	18,865	20,023	19,509	18,060	24,105

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	平成12年度から介護保険制度が始まり、認定者が増加し、給付費も大幅に増加しているために、介護予防を重視し、18年度からの改正により本事業を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	平成22年8月国「地域支援事業実施要綱」の改正で、介護予防事業に参加しやすい名称の変更として「介護予防事業特定高齢者施策」から「介護二次予防事業」に変わった。 平成27年4月介護保険制度改正により、介護予防事業は、一次・二次の対象者を区別することなく、全ての65歳以上の高齢者を対象とした一般介護予防事業へ移行となった。 本市は平成29年4月より一般介護予防事業へ移行予定となる。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	なし

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 二次予防対象者を把握し、その高齢者に対して要支援・要介護状態になることを予防することは、住み慣れた地域で、安心して生活を送れる高齢者の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 介護保険法に必須事業として定められているため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 対象・意図は、介護保険法で定められているので、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある 介護保険法に定められた事業を、すべての二次予防対象者を対象として実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない 介護保険法で定められているので、廃止・休止もできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☐ 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の事業費であり、削減の余地がない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しているため、削減の余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある 介護保険法に定められており、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☐ ：有効性 ☐ ：効率性 ☐ ：公平性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																							
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							